中間レポート課題「東京の都市像における○○○の役割」への学生コメント

１）6/6 発表分

■08M17330 屋根の役割

・ 屋根は本来、外的要因によって決定されるものが、その操作により町並みをつくり出すことに興味を持った。
・ 街並み形成の上で屋根の形状は強い意味をもってくるということに共感した。設計する上で役立つ視点だと思う。
・ 屋根の設計の問題が良く分かりました。ニュータウンや法規といった外側から屋根をつくるのではなく内側から作っていって欲しいと感じました。
・ 屋根の振る舞いから風景へつながる導入が面白かった。本来の屋根の形の理由と現在の屋根形の対比、建築家の使命として現状の屋根形の理由の顕在化というのが興味深かった。

■08M30075 時間の役割

・ 具体的なビジョンは見えなかったが、当たり前のものに注目して東京を切ったことが面白いと思った。
・ 確かにまちなみを評価する時、基本的に昼をイメージしていた。でも夜の東京を考えても、東京のまちがきれいだとは思えない。
・ テーマはとても面白いと思ったが、丸の内の人口の話や夜景など、一般によく言われていることだけで終わってしまったのでもう少し深い話が聞ければもっと良かった。

■07M51358 コインパーキングの役割

・ プレゼンテーションが良かった。自分の興味のもとにフィールドに出ていたのが説得力があった。
・ コインパーキングについて「長期的に計画されたもの」と「短期的に間に合わせで運営されているもの」の２つに分類している視点は興味深かった。住宅街におけるコインパーキングにおいては騒音やコミュニティを分断してしまう等の悪影響も少なくないと考えられる。特に、短期的に狭小な敷地につくられたコインパーキングにおいては上記の悪影響も大きいと考えられる。この問題の背景には用途地域制度も関係していると思われるので、その辺りも調べてみたいと思いました。
・ コインパーキングは景観的にはあまり増えて欲しくないものだがガレージや駐車スペースが取れないことが当たり前になりつつある現状では、その存在を受け入れて、そのあり方を考えていく必要があるのかもしれない。コインパーキングは空所としての役割を担いうるものであるから、建物を設計する上で重要な手がかりともなると思った。

・ 日本の特徴的な風景で、日本のダイナミックさを表現していることに気付かされました。ただコインパーキングは良いビジネスモデルだが、良い風景ではないと思います。一部だけでもコインパーキングに変わるシステムが早くできると良いと思います。
・ 面白い視点だったと思います。地価の高い土地に TIMES といった大規模にやっている企業は入っているのでしょうか？入っていたらコインパーキングで採算が取れるのだと思いました。
・ 空地、コインパーキングが発生する場が都市のどの辺で発生しているのが多いのか。大都市の中での位置づけが強いのか、もっと周辺の環境が影響を得ているのかなどが少しでも想像できる（周辺建物や敷地形状など）ようなプレゼンであればより面白かったと思います。
・ 土地利用を考える時に、駐車場に着目したのはすごいと思う。International な視点で分析したのもとても興味深かった。なぜ日本という国にこれだけコインパーキングが生まれたのかも知りたかった。
・ 暫定的な土地利用の新たな特徴として、大胆な計画が行いやすい面が挙げられる。例えば亀戸サンストリートやパレットタウンなどは暫定的な利用が成功し、建築物としては比較的簡易だが、商業空間として根付いている。この、暫定利用の類型化から読み解ける事もあると考える。
・ 車と住宅、道路との関係や、空き地をコインパーキングとして利用する日本の「隙あらば」的な精神を鋭くついていて面白かった。
・ 都市を考えるとき車というものは必ず出てくるが、東京はこの問題にうまく対応していないと思う。スピーディな交通ネットワークを形成するという点では、幹線道路の整備などの努力がなされているが、駐車場の問題や歩車分離の問題に関しては全然対応していないと思う。

■ 08M41127 公共事業と合意の役割
・ 町への無関心は、人が環境の中で生きているという自覚の喪失により来ているのではないかという意見が印象的だった。
・ プレゼンテーションの中であった価値の発掘の仕方は確かに独自の町づくりを行う要素となりえるだろうが、町づくりに関心のない人たちはどう位置づけていくのか？人と環境の関係を取り戻すためのデザインがあるべきだというのは、その通りだと思う。
・ 現場で働いていただけあって、すごく説得力があった。合意形成の大変さが良く分かった。

■08M17175 地形の役割
・ 街区や道路は地形から相当の影響を受けて形成されます。故に地図上から地形を取り除き、街区や道路だけにし、そこから逆に地形を作り出してみたら面白いと思いました。たまに

地形に反して作られた道路等があるので、それらからは実際と違った地形が想起されるのだと思います。

・ 遠方から建物の張り付いた丘や谷を見るだけでなく、坂の下を見る視点が導入されているのが興味深い。

■ 07M17241 空所の役割

・ 空所の中にも様々な用途がある。例えば緑地であっても公園であったり、農地であったり、生産緑地であったり・・・。そういったものを開口部の風景として見えるようにするのか、しないのかという選択にも何かあるのではないかと思いました。(借景における風景のコントロールで)

・ 住宅が密密に建っている東京に住んでいると「窓」というものはなかなかネガティブに捉えられがちであったが、地面から離れたところにもオープンスペースがあることを定義し、それをつぶさに分析することで、窓を再び建築のジョイを生み出すものとして捉えようというさわやかさに好感が持てた。

・ 景色を家の中に取り込むという、ローカルな視点の価値を内包できるようなまちづくりの手法が求められていると思います。家主は取り込んだ空所が姿を変えることは自分にとってどのような影響があるのかということを意識し、生活空間を眺め、また、まちの活動に関わっていく事で、家の中からの風景を豊かに保つことができると思います。

・ 東京という地価の高い場所で空所の重要性を説いていたが、土地利用の面からはこのような中途半端な空所は邪魔なものであると思った。

・ 東京の密集をどう活かすかという観点から、空所の見え方を分類して組み合わせているという手法ですごく面白かった。景観の技法で言えば「借景」だと思うが、どう見えるとどう感じるのか、景観を要素で分けて効果まで分かるようになるともっと面白くなりそうだと思う。

・ 空所は東京において永久的に空所であるとは限らないが、逆に空所に何か建つときに大開口が向いているという環境をひろって（考慮されて）建築が建つと思われるので興味深いと思いました。

■ 08M17034 植木の役割

・ 分類したものが、町並みを形成するのにどうつながっているのかという面が足りなかった気がする。路地の狭さによって、植木の種類、置き方が変化しているだろうし、それにより、路地、町のアイデンティティが形成されると考えることもできるのでは？

・ 今の都市生活者は自らの身体を取り囲む風土的環境との関係が希薄になっていて、その関係性を取り戻すことがこれからの都市デザインの重要なテーマだと思います。昔の日本建築には身体→盆栽・生け花→庭→自然という緑の序列性があり、自己と空間との関係を生

きていたようです。また、植木、盆栽、庭などを通じて人と人との関係を構築していました。

■ 08M17123 住工併用の役割

・ ユーザーが自ら環境をデザインし、町並みを形成するという話はおもしろい。「機能」をこの町並みを形成する大きな要因としてあげていたが、それ以外の要因は何があるのか？それは、他の地域の住工併用の建築群を見ていくと分かるものでもあると思う。景観法などの外からの規制によって町並みを創造していくというのとは相反する、積極的な町並みのあり方であると思うので、この町並みが形成されるプロセスを詳しく知りたい。
・ 機能の問題と構造物の形状がフレキシブルに変化すること、さらにそれを許している集合としての住居の関係性を知りたいと思った。
・ 町工場の住宅と工場の各要素がせめぎ合うファサードが特徴的な街並みを形成しており、東京のある地域の雰囲気をつくっていて面白いと思いました。
・ もっと視野を広げて地域の変化を見るのも面白いと思う。

■ 08M17229　人口増減の役割

・ 都市像というものから「人口」という点に着目したところが面白いと思った。
・ 人口増加によって、都心部は建物で埋め尽くされている。今後の人口減少に建築家はいかに関わっていくのか。発表者は大野氏のファイバーシティを好例として挙げていたが、ファイバーシティは、時間的に長すぎるスパンで考えていると思う。都市に生きる人間も、変わりゆく都市の中にも変わらない風景に心をとめている。私もそうである。
社会システムとしては成立していても、現代を生きてきた人々にはあまりにもリアリティがないと思う。ファイバーシティに至るまでの変化システム（増改築など）の可能性を考えることは意味があることと思われる。
・ 大野氏のファイバーシティに関しては前から興味があったので、それに対する考察が行われたのはとても面白かった。が、このファイバーシティがなぜこれほどまでに注目を集めているかについて、独自の考えをもっと聞きたかった。
・ 従来の市場の追求を目指した都市計画から今日の協議型の都市計画へのシフトの必要性について、都市像を考えるにあたって重要だと思った。

■ 08M17057　地下鉄出口の役割

・ 東京のダイジェスト版という発想が面白いと思った。でもそれによって何か東京のまちづくりに役立つ資料になるかは難しい気がする。
・ Gibson の遮蔽縁の考えとリンクしている。順次、見えなかった景色が現れてくる→都市の風景像の印象を強める効果。これは複数の駅を利用する人にとってのみ認識できるもの。

通常、地下鉄利用者はＡ駅→Ｂ駅しか利用しない。(間の駅は利用しない）ダイジェスト版にならないのでは？

・ ダイジェスト的風景としての地下鉄駅出口からの風景を指摘できるが、非常に旅行者的視点と思う。

・ 出口の風景=ダイジェストという関連をもう少し説明して欲しかったです。私は変化を読み取れる程、東京の風景は違っていると思っていないもので。

■08M43304　帝都復興事業の役割

・ 授業で聞いた同潤会アパートをはじめとする多くの事業について、それらの総まとめのような感覚で聞けてとても分かりやすかった。1つ1つの事業を見ていくというだけでなく、大きく事業全体として捉えることで、また違った見方ができると思った。